

EPSON

製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-L200SW

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver.2.00の概要4

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)4

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)4

ファームウェア Ver.2.10の概要5

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)5

ファームウェア Ver.2.40の概要6

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)6

操作方法に関する変更 (Ver.2.40)6

ファームウェア Ver.2.41の概要7

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.41)7

ファームウェアの変更詳細について 8

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)9

A/V出力9

無信号時画面9

ホーム画面自動表示9

待機モードと高速起動10

トランスミッター設定10

無線LAN方式11

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)12

ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macの
み)12

はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備12

ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する13

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.10)14

A/V出力14

オートパワーオン14

起動条件15

待機モードと高速起動15

トランスミッター設定16

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.40)17

アクセス制御およびセカンダリ接続17

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.40)18

Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更18

ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加18

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.41)19

アクセス制御およびセカンダリ接続19

付録 20

オプション21

無線LAN用オプション21

一般のご注意22

ご注意22

商標について22

著作権について22

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.4](#)
- 「ファームウェア Ver.2.10の概要」 [p.5](#)
- 「ファームウェア Ver.2.40の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.2.41の概要」 [p.7](#)

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.4](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.4](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムの追加に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

表示メニュー

- [無信号時画面] に設定値を追加
- [ホーム画面自動表示] の項目表示条件を追加

動作メニュー

- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

ネットワークメニュー

- [トランスミッター設定] を追加

ネットワーク設定メニュー

- [無線LAN方式] を追加

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 [p.9](#)

- 「無信号時画面」 [p.9](#)
- 「ホーム画面自動表示」 [p.9](#)
- 「待機モードと高速起動」 [p.10](#)
- 「トランスミッター設定」 [p.10](#)
- 「無線LAN方式」 [p.11](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写できます。

ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPWT01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.12](#)

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)」 [p.5](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)

本バージョンでは、Microsoft Teams Rooms対応に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

動作メニュー

- [オートパワーオン] の内容を変更
- [起動条件] を追加
- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

ネットワークメニュー

- [トランスミッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件を追加

ファームウェア Ver.2.40での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)」 [p.6](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.40)」 [p.6](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.40)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- [割り込み接続] を削除
- [アクセス制御] を追加
- [セカンダリ接続] を追加

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.17](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.40)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Screen Mirroringでの投写中にデバイスを強制的に切断できるようになりました。
- ホーム画面に [ブロックリスト削除] アイコンが追加されました。

▶ 関連項目

- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.18](#)
- 「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 [p.18](#)

ファームウェア Ver.2.41での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.41)」 [p.7](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.41)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring]

- [アクセス制御] メニューの [オン] の表示条件を追加
- [セカンダリ接続] に設定値として [割り込み接続許可] を追加

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 [p.19](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.9](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.12](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.10)」 [p.14](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.40)」 [p.17](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.40)」 [p.18](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.41)」 [p.19](#)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 p.9
- 「無信号時画面」 p.9
- 「ホーム画面自動表示」 p.9
- 「待機モードと高速起動」 p.10
- 「トランスミッター設定」 p.10
- 「無線LAN方式」 p.11

A/V出力

「A/V出力」の項目表示条件が追加されました。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	[動作] メニューの [高速起動] が [オフ] のとき表示されます。

変更後の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

無信号時画面

「無信号時画面」に設定値として「グラデーション」が追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ

変更後の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ グラデーション

ホーム画面自動表示

「ホーム画面自動表示」の項目表示条件が追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	—

変更後の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	[ネットワーク] メニューの [接続ガイド表示] が [オフ] のとき表示されます。

待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	[信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] のとき表示されます。
	高速起動	

変更後の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

トランスミッター設定

[トランスミッター設定] が追加されました。

変更前のネットワークメニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後のネットワークメニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	トランスミッター設定	ペアリング開始
		オートパワーオン
		接続ガイド表示

ペアリング開始

Epson Wireless Transmitter Settingsを使って、コンピューターからトランスミッターのネットワーク情報を更新します。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。

無線LANユニットが取り付けられ、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] のとき表示されます。

オートパワーオン

[オン] にすると、ワイヤレスプレゼンテーションシステムでコンピューターを接続したときに、本機の電源がオンになります。

以下の場合に表示されます。

- [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている
- [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

接続ガイド表示

[オン] にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面ではなくトランスミッター (Epson Wireless Presentation) の接続ガイドを自動的に表示します。設定の変更は、本機の電源を入れないときは有効になりません。

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続するときには、[オフ] にします。

[動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のとき表示されま
す。

無線LAN方式

[無線LAN方式] が追加されました。

変更前のネットワーク設定メニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後のネットワーク設定メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	ネットワーク設定	無線LAN方式 • 802.11ac (Wi-Fi 5) • 802.11n (Wi-Fi 4)

本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。

お住まいの国や地域により、選択できる方式は異なります。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.12](#)

ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)

オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使用すると、無線LANに対応したコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続できます。ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPW01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶▶ 関連項目

- 「はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備」 [p.12](#)
- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する」 [p.13](#)

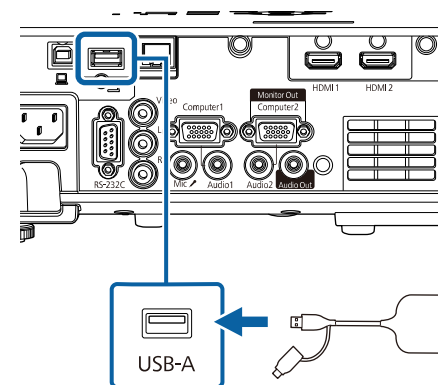
はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備

トランスミッターとプロジェクターをペアリングするなど、ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写するための準備をします。



- ペアリングする前に、本機のネットワーク設定を行ってください。
- [ネットワーク設定] メニューの [プロジェクター名] または [パスフレーズ] を変更したときは、トランスミッターを再度ペアリングする必要があります。
- Epson Wireless Transmitter Settingsを使うと、コンピューターからペアリングできます。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。
epson.jp/download

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 トランスミッターを本機のUSB-A端子に接続します。



ネットワーク情報が書き込まれ、完了メッセージが表示されます。ペアリング完了まではしばらく時間がかかります。

⚠ 注意

ネットワーク情報の書き込み中は、プロジェクターから電源コードやトランスミッターを取り外さないでください。電源コードやトランスミッターを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。完了メッセージの表示を確認してからトランスミッターを取り外すようにしてください。

3 続けてペアリングする場合は、もう1つのトランスミッターを接続します。

4 必要に応じて [はい] を選択し、[接続ガイド表示] を [オン] にします。



- [はい] を選択することをお勧めします。次回以降、本機の起動時に入力信号がない場合に、トランスミッター (Epson Wireless Presentation) の接続ガイドが表示されません。
- [接続ガイド表示] が [オフ] で [コンテンツ再生] が [オフ] のとき、[接続ガイド表示] を [オン] にするメッセージが表示されます。
- [ネットワーク] メニューで接続ガイドの表示を変更できます。
 [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [接続ガイド表示]

5 トランスミッターを取り外して、無線LANユニットを取り付けます。

6 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

7 [管理] メニューの [無線LAN電源] が [オン] に、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] になっていることを確認します。

本機を再起動して、接続ガイドの表示設定を有効にすることをお勧めします。



[ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] を [オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態 (電源オフ) でも投写を開始できます。

[ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [オートパワーオン]

ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する

ペアリング済みのトランスミッターを使うと、プロジェクター (レシーバー) とWindows/Macコンピューターを直接接続し、素早く簡単に映像を投写できます。



無線LANユニットが本機に取り付けられていることを確認します。

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターのUSB端子にトランスミッターを接続します。

3 トランスミッター内のEpson Wireless Presentationを使って投写します。詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 p.14
- 「オートパワーオン」 p.14
- 「起動条件」 p.15
- 「待機モードと高速起動」 p.15
- 「トランスミッター設定」 p.16

A/V出力

[A/V出力] の項目表示条件が追加されました。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

変更後の信号入出力メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

オートパワーオン

[オートパワーオン] の内容が変更されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 [HDMI1] を選択したときは、[起動条件] で本機の起動方法を設定します。

起動条件

[起動条件] が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

設定項目なし

変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	起動条件	接続検出
		信号検出

[オートパワーオン] が [HDMI1] に設定されているときの本機の起動方法を設定します。

接続検出

接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

信号検出

HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

Microsoft Teams Roomsを使ってビデオ会議を行うとき、便利です。

Microsoft Teams Rooms対応機器からのビデオ信号を検知して、自動的に本機の電源が入るため、すぐに会議を開始できます。



[信号検出] に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。

待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

変更後の動作メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

トランスミッター設定

[トランスミッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件が追加されました。

変更前のネットワークメニューのトランスミッター設定 (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスミッター設定	[オートパワーオン] 以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

変更後のネットワークメニューのトランスミッター設定 (Ver. 2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスミッター設定	[オートパワーオン] 以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている • [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ **関連項目**

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 p.17

アクセス制御およびセカンダリ接続

[ネットワーク投写] メニューの [Screen Mirroring] の設定項目が変更されました。

変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.10)

設定	設定	項目または設定値
割り込み接続	オン オフ	[オン] にすると、Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。 Screen Mirroring ソースを2系統使用するときは、[オフ] に設定します。

変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.40)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] にすると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。

設定	設定	項目または設定値
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [割り込み接続不可]: 先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されません。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]: Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 p.18
- 「ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加」 p.18

Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更

Screen Mirroringでの投写中に、デバイスを強制的に切断できるようになりました。

投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。

ブロックリスト削除アイコンをホーム画面に追加

[ブロックリスト削除] アイコンがホーム画面に追加されました。

[ネットワーク投写] メニューで [アクセス制御] が [オン] に設定されているとき、どのデバイスをScreen Mirroringで接続するかを管理できます。接続しようとしているデバイスを確認画面からブロックすると、そのデバイスがブロックリストに追加されます。このアイコンで、デバイスのブロックを解除できます。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「アクセス制御およびセカンダリ接続」 p.19

アクセス制御およびセカンダリ接続

- [アクセス制御] メニューの [オン] の表示条件が追加されました。
- [ネットワーク投写] メニューの [Screen Mirroring] > [セカンダリ接続] に設定値として [割り込み接続許可] が追加されました。

変更前の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.40)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。
セカンダリ接続	割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [割り込み接続不可]：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

変更後の [ネットワーク投写] メニュー (Ver. 2.41)

設定	設定	項目または設定値
アクセス制御	オン オフ	[オン] に設定すると、投写を許可するかどうかの確認画面がScreen Mirroringで接続するたびに表示されます。 [オン] は [セカンダリ接続] を [割り込み接続許可] に設定しているときは表示されません。
セカンダリ接続	割り込み接続許可 割り込み接続不可 オフ	Screen Mirroring 接続中に接続を試みるデバイスの接続動作を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [割り込み接続許可]：Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。[アクセス制御] が [オフ] のときに表示されます。 • [割り込み接続不可]：先に接続していたデバイスからの映像がScreen Mirroring1ソースとして投写されたまま、2台目のデバイスが接続されます。入力ソースをScreen Mirroring2に切り替えると、2台目のデバイスからの映像が投写されます。同時に接続できるのは2台までです。 • [オフ]：Screen Mirroring接続中に他のデバイスは本機に接続できません。

付録

新しく用意したオプションや使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶▶ 関連項目

- 「オプション」 [p.21](#)
- 「一般のご注意」 [p.22](#)

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- 「無線LAN用オプション」 [p.21](#)

無線LAN用オプション

ワイヤレスプレゼンテーションシステム **ELPWP10**

本機とWindows/Macコンピューターを直接接続して無線で投写するときに使います。2つのトランスミッター（ELPWT01）と1つの無線LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

トランスミッター **ELPWT01**

ワイヤレスプレゼンテーションシステムに追加するトランスミッターです。

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.22
- 「商標について」 p.22
- 「著作権について」 p.22

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Macは、Apple Inc.の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2021 Seiko Epson Corporation

Rev.01 2026.02 JA